

## 第7回東大阪市高齢者地域ケア会議 企画運営会議 要旨

開催日 令和4年11月16日（水）午後2時より午後3時30分まで

### 協議内容

- ・地域包括支援センター福寿苑より第1層協議体への課題提示がある。
- ・認知症あんしんガイドブックが完成する。
- ・おれんじ通信の今後のテーマについて意見交換する。
- ・12/3 第26回楽Caféを角田総合老人センターにて開催予定。
- ・医療状況について意見交換する。
- ・若林美樹氏が若年性認知症当事者や家族の活動に参加し作成した曲が完成する。

### 各機関の報告

#### 1 各選出機関の活動状況について

##### 【基幹型地域包括支援センター】

- ・11/17 地域包括支援センター連絡調整会議実施予定。

##### 【地域包括支援センター】

- ・11/17 地域包括支援センター連絡調整会議にて意見交換を実施予定。

##### 【訪問介護事業者部会】

- ・特になし。

##### 【訪問看護事業者部会】

- ・近日管理者会を実施予定。
- ・新型コロナウイルス自宅療養者の健康観察事業の利用者数が増加傾向。
- ・KISA2隊のアンケート調査を実施している。

##### 【通所介護通所リハビリテーション部会】

- ・1月にBCP研修を実施予定。

##### 【介護支援専門員連絡会】

- ・11/24 医師会との交流会をZoomにて実施予定。「コロナでの在宅医療について」という講演と「ケアマネジャーが関わった生活での影響」という内容でグループワークを実施予定。現在ケアマネジャーの参加申込数は40人。

##### 【河内医師会】

- ・11/25 河内医師会理事会開催予定。
- ・2/25 河内医師会在宅医療推進多職種連携研修会をハイブリッド形式で開催予定。それに伴い11/17 多職種連携推進委員会をオンラインで開催予定。

##### 【布施医師会】

- ・12/3 布施医師会緩和ケア研修会を開催予定。
- ・11/5～11/6の花園エキスポ健康フェスタでのブースについて。「脳の健康を保とう」では、脳年齢を測定。400人の参加があった。「糖尿病の栄養相談」では、フードモデルを使用して相談対応した。

##### 【市立医療センター】

- ・新型コロナウイルス感染者数が増加しており、コロナウイルス病棟の入院患者は現在20～25人となっている。

- ・11/24にNST勉強会「当院の食事について」を実施予定。
- ・12/8に第4回緩和ケア研修会「緩和ケア病棟の面会の現状～コロナ禍におけるジレンマと課題～」を実施予定。
- ・12/15に第6回多職種連携ねっとわーく会「高齢者の誤嚥予防について」を実施予定。

#### 【社会福祉協議会】

- ・1/26 シニア地域活動実践塾悠友塾のシンポジウムをユトリート東大阪で午前11時～12時に実施予定。公開講座と塾生が1年間学んだことの発表会がある。周知を依頼したい。

#### 【保健所】

- ・新型コロナウイルスのクラスター対応の部署を再度設置した。疫学調査等の応援体制を組んでいる状況。
- ・11/5～11/6 花園エキスポ健康フェスタでは健康増進の取り組みをしている、第一生命保険株式会社、明治安田生命保険相互会社、東京海上日動火災保険株式会社などの事業者と協力を得てSDGsに関連するブースを2カ所設置した。内容は、姿勢チェック、血管年齢の測定、ベジチェックという野菜の摂取料測定、がん検診の周知というもの。1日あたり300人ほどの参加があった。
- ・保健センターでは338疾患の指定難病公費負担手続きや患者の支援を行っている。支援の一環として毎年難病に関する講習会を開催している。12/7にサルコイドーシス講演会をハイブリッド形式で実施する。内容は、サルコイドーシスの治療と日常生活の注意点についてというもの。参加や周知を依頼したい。
- ・12/2 難病患者の働き方相談会を実施予定。難病患者就労サポーターや市立東大阪医療センタースタッフ、保健師等が個別相談に対応する。

#### 【福祉事務所】

- ・12/1以降に、厚生労働省実施の障害等のある方に対する「生活のしづらさなどに関する調査」が実施される。窓口は障害施策推進課。目的は福祉施策を改善するための基礎資料を得ること。調査票の記入は任意。対象地域には事前に周知のポスティングが行われ、後日調査員が訪問して対象者を確認し、協力者に調査票を受け渡す。調査票は後日郵送にて回収する。調査員は必ず東大阪市が交付した調査員証を携帯している。

#### 【地域包括ケア推進課】

- ・11/15号の市政だよりにてトルクひがしおおさかについての記事を記載。ロゴマークのグッズも今後作成予定。
- ・11/5～6の花園エキスポでトルクひがしおおさかのコーヒーを提供するブースを出展。このブースでは堺市と池田市でコーヒーの淹れ方を学んだ卒業生がボランティアとしてコーヒーを提供し、トルクひがしおおさかの周知、参加者へのアンケートを実施した。
- ・12/15のトルクフェスタについてチラシを基に案内がある。フェスタの入退場は自由となっているが、一部申し込み制になっており電話、もしくはインターネットで受け付けている。現在の申し込み状況は、コーヒー教室体験会や脳の健康チェックが人気となっている。周知を依頼したい。地域包括支援センターなどには関係者用の30分のツアーを準備しているため、別途案内する。